

鳥獣被害の改善策



提案など

クマとカラスをはじめとした鳥獣被害が毎年のように増え続けています。改善策を2つ考えました。1つ目は木の実を植えることです。しかし、お金と時間がかかります。2つ目はカラス対策です。カラスは黄色が嫌いということなので、ごみ捨て場を黄色にすることです。これからも鳥獣被害が減るよう改善策を考えていきます。

市長から

被害の一番の根源は、山に人の手が入らなくなったことです。昔は、



山で燃料のためのまきなどを取っていて、山が荒れているようなことはありませんでした。今は山に手が入らず、人と獣たちの境界線がない状態が生まれてしまいました。人が木を切り出したりして山が元気になれば、新しい植生が生まれて新しい木が育つ。そうすると、えさとなる木も再生してくるはずですが、カラスの話は、しかと受け止めて、作戦を練りたいと思います。

みんなが住みやすく若者が増えるように



提案など

私たちの理想は、全年代が住みやすい場所になって若者が多い環境になるということです。しかし、今は若者が減少し、高齢者が増加しています。県外の若者が興味を持つような魅力を発信すれば、市に来てくれると思います。例えば、インスタ映えする写真で、市の魅力であるスキー場やお米の写真を載せて情報発信すれば若者が来てくれて、そのうえ人口増加につながると思います。

市長から



これもすごく難しいテーマです。南魚沼市だけの問題ではなくて、全国的な問題になっています。一番の問題は、子どもが生まれる人数が大きく減ってしまっていることだと思います。ここで魅力を作って、呼び込むことも大事ですが、もともとの人口が伸びない限り、他市町村との奪い合いになってしまうので、もう少し考えなければいけません。残念ながら、人口減少を止めるのは今のところ難しいです。減少に対応する国づくりとして、効率よく仕事ができる体制や、移動や物流をきちんと整備し、人数が減ったなりの社会構造をつくるなども、増やすことを考えながらやっていかなければいけないと思います。

人口が増えて明るいまちになるように



提案など

市では人口が1年に約850人減っているのが現状です。そこで改善策を考えました。子ども3人目から医療費を無料にすると、子どもにかかる費用が少し軽くなり、親の負担が減ると思います。また、出生祝いを多くすれば、子どもを産んで育てやすいと思うからです。市の負担が大きく大変だと思いますが、参考にしてほしいと思います。

市長から

すばらしい視点だと思います。南魚沼市の医療費は、0歳から未就学児は無料で、小学生から中



学生までは一部負担があるけど、子どもたちは基本的に無料なので提案をクリアできたと思います。人口を増やすために、産み、育てやすい環境を作ってほしいということですよね。子どもが多くいる家庭には手厚い支援ができるように今考えています。これから議論していきます。金銭的な負担を少なくして、もう一人子どもがほしいと思えるようにしていきたいです。